

学習情報システム論

(室田担当)

平成19年11月26日

室田真男

大学院社会理工学研究科 人間行動システム専攻

復習

- Web界の大変革期 (Web 2.0)
 - ▶ 見る・視る → 語る・作る
 - ▶ 授与 → 参加
 - ▶ システム → サービス
 - ▶ OS → Webプラットフォーム
 - ▶ Static → Dynamic
- 考え方と取り組み方の転換
- システム構築・設計方法の転換

今日の内容

- グループ活動（１）
- ロングテールについて
- 新しいWeb環境と学習
- グループ活動（２）
- レポート課題

3

グループ活動（１）

- 調べてきたサイトをグループ内で紹介しあう
 - ▶ 学習にどの様に役立つかという観点で簡単にレビューする
- Web 2.0 Backpack: Web Apps for Students
 - ▶ http://www.readwriteweb.com/archives/web_20_backpack_web_apps_for_students.php
 - ▶ 掲載されているカテゴリー
 - Office Replacements, Notetaking, Mind Mapping, Studying, Bookmarking, Collaboration, Calendars, Calculations, Other Tools
- 30分

4

ロングテール現象とは（１）

- ロングテールと反対の概念
 - ▶ パレートの法則＝20:80の法則
 - イタリアの経済学者Vilfredo Federico Damaso Pareto
 - ▶ ある集合の20%が、常に結果の80%を左右する
 - 富の80%は、人口の20%の人々によって占有される
 - よく売れている順から20%の商品が売上の80%を占める
 - 家の中で出るゴミの80%は、部屋の20%の場所からでる
 - 利益の80%は、20%の大口優良顧客から
 - 成果の80%は、20%の優秀な社員から
 - ▶ 一種の経験則であり、偏りがあるということが本質

5

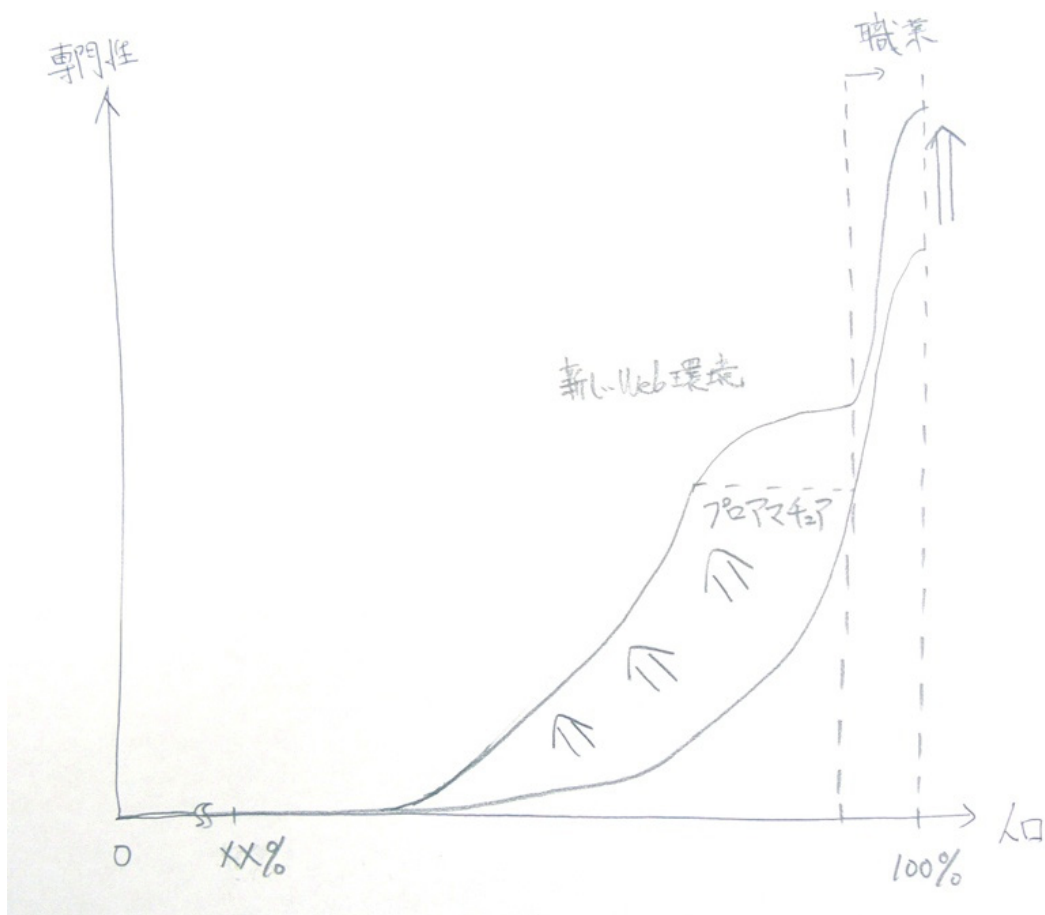
ロングテール現象とは（２）

- Amazonの例で考える（「ウェブ進化論」より）
 - ▶ 縦軸に売れた部数（1000部で5mmとする）
 - 200万部で10m, トップはそれを超える
 - ▶ 横軸に売れた順に本が並べる（1冊5mmとする）
 - 10位で売上数は一桁下がるから、横軸が5cm進むと縦軸は10mから1mへ急降下
 - 日本の年間出版点数は約7万点(=350m), 3年分で約20万点(約1km)
 - 10mから急降下して、あるところから地面すれすれにはって、1km先まで続く
 - ▶ リアル書店の米「Barnes & Noble」では、在庫が13万点。
Amazon.comでは、売上の3分の1は13万点以降の本から
 - ちりも積もれば山となる

6

Wikipediaでは

- Wikipediaの筆者数に関するTips
 - ▶ 記事の50%は、0.7%の筆者により書かれている
 - ▶ 記事の73%は、2%の筆者により書かれている
 - ▶ 従来の百科事典とあまり変わらない？
 - 編集者、コアな筆者

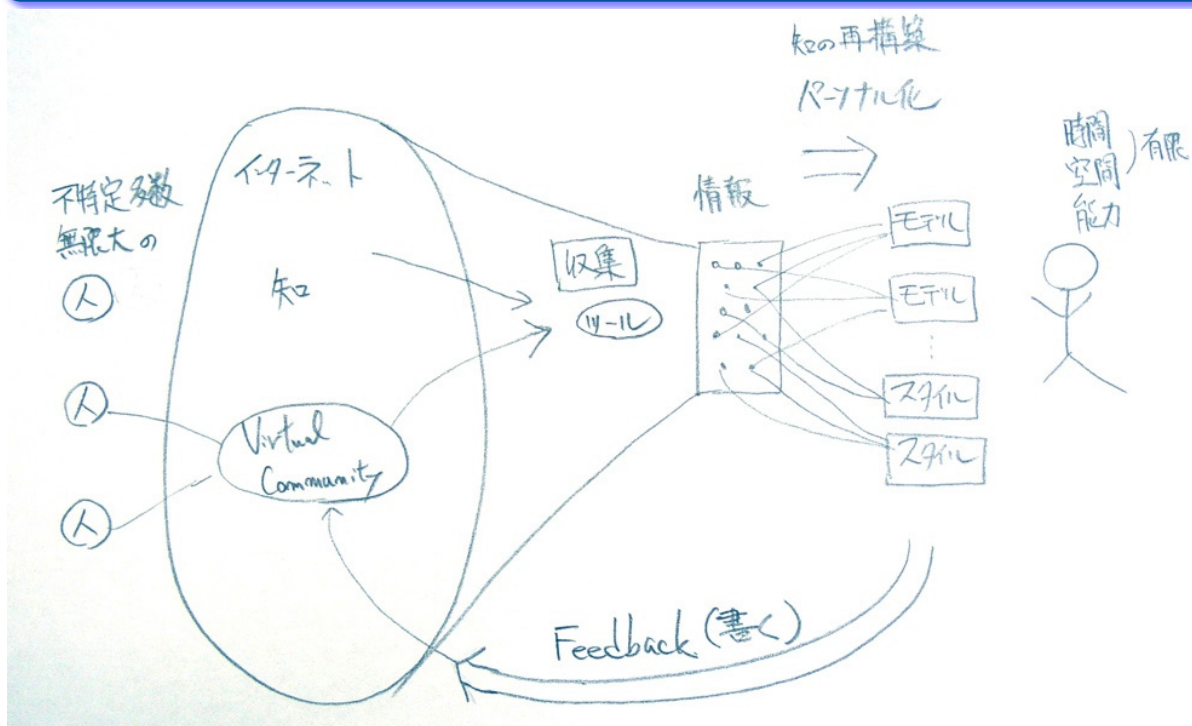


学習活動を巡る環境

- 社会的背景
 - ▶ 社会の多様化と変化の加速
 - ▶ 自己が専門に選んだ分野とは異なる分野に進む可能性増大
 - ▶ 生涯を通して学習を継続し、向上・変革することが必要
- 知的背景
 - ▶ 個人の知識はネットワークで構成され、非公式な学習が公式の学習を補完
 - ▶ どのような知識を所持しているかより、知識を獲得する能力、獲得した知識を活用して新たな知識を生成する能力が重要

9

新しいWeb環境と学習



10

グループ活動（２）

- Web 2.0時代の学習スタイルの特徴について， Web 1.0時代と比較しながら検討する
 - ▶ 新しい技術やツール
 - ▶ 新しいリテラシー
 - ▶ 学習プロセスの変化
 - ▶ 書く能力
 - ▶ 学習者と教師の関係
 - ▶ 情意性・社会性の重要性

11

レポート課題（別紙）

12